

POWER! FOR ALL beyond 2030

1907年の創業以来、ダイハツディーゼルは、社会インフラの一端を担うことを社会的使命とし、船舶用エンジンで海上物流を、陸用エンジンで常用・非常用の電源を確保するなど、海と陸の両方から人々の安心安全な暮らしを支えてまいりました。

そして近年、世界には、気候変動、エネルギー資源の枯渇、情勢不安といったさまざまな社会問題が山積しております。

これらの課題と真摯に向きあい、これからも人々の暮らしの安心安全を支え続けること、豊かな自然環境を守ること。この2つのミッションを両立させるため、ダイハツディーゼルがめざす姿を表す「POWER! FOR ALL beyond 2030」を策定いたしました。

未来につながるパワーサプライカンパニーとして、サービタイゼーションを加速しつつ、2050年のネットゼロエミッション[※]達成に向け、全社をあげて取り組んでまいります。

※ネットゼロエミッションとは、温室効果ガスあるいは二酸化炭素(CO₂)の排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすること。



社会課題と分析

生命・財産・安心・安全を守り続ける

グローバルメガトレンド(要因)と、向き合うべき課題



人々の暮らしの安心安全を支える

私たちは、海と陸の社会インフラの一端を担います

豊かな自然環境を守る

私たちは、地球環境問題に向き合いクリーンなエネルギーへの転換を図ります

豊かな社会と自然環境を両立させるため、2つのミッションを達成します

私たちは、人々の暮らしのために技術革新を進めつつ、地球環境を守ります



ミッション達成のためのソリューション

TARGET 2030

GHG(温室効果ガス)削減と経済的価値向上の両立

製品のGHG削減

次世代燃料対応エンジンの開発

- アンモニア燃料および次世代のガス燃料(水素など)のエンジンで世界最高レベルの燃焼効率を達成
- 排出ガス浄化技術を利用し、温室効果ガスをさらに抑制
- 各種合成燃料対応エンジンを提供し、GHGを削減に大きく貢献

事業活動でのCO₂削減

生産過程におけるCO₂削減

- 生産効率向上による使用エネルギーの抑制と再生エネルギーの活用
- 発電設備の高効率化、エネルギー回収設備の取り組み継続など、多彩な削減プランを実施
- 姫路工場(臨海エリア)からの海上輸送によるモーダルシフトの加速

新たなお客様価値のご提供

デジタルサポート事業の展開

- パワーで社会を支えるという目的をもち、エンジン運用面でお客様価値を実現するためのデジタルサポート事業を展開
 - 船陸間で共有するエンジンデータを活用し、トータルライフサイクルコストの適正化を目指すCBM(Condition Based Maintenance)の実現
 - 商品販売後、これまで蓄積しているノウハウをDXを用いて、タイムリーなメンテナンスや部品の提供を可能とする新たなサービスの構築
- ※サービタイゼーションとは、生産した製品を販売するとともに、サービスをお客様にご提供するビジネスモデルのこと



TARGET 2050

人々の暮らしの安心安全を支える

サービタイゼーションの進化

豊かな自然環境を守る

ネットゼロエミッションを達成

POWER! FOR ALL beyond 2030

実現をめざして

パワーサプライカンパニーとしてエンジンとサービスでお客様価値創造を実現

ダイハツディーゼルは、「たくましい創造性と優れた技術を磨きあげ、社会を豊かにする価値を提供し、人々との共生を願い、限りなく前進します」という企業理念のもと、「社会インフラの一端を担う」という使命を果たしてまいりました。また、地球環境を守るため、提供する商品やサービスを通じて、温室効果ガス削減や資源の有効利用等に取り組み、「自然環境との調和を図る」という責任を負ってまいりました。これからもこの社会的使命と責任を持って、豊かな自然環境を守りながら、人々の暮らしの安心安全を支える企業であり続けます。